

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-46 維持管理費(山崎) □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
					540	終末処理場維持管理事業	
主管課	浄化センター	関連課	下水道課		540	水質管理事業・水質分析事業	
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	施設管理コストの低減を図りつつ汚水の安定的な処理を継続し、周辺環境に配慮した処理場運営を目指します。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	552,526千円	564,329千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	処理対象者1人当りの経費	
	(負担金等)					評価	◎
	(一般財源)	552,526千円	564,329千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	6.5人	8.8人		目標値	実績値	
	人件費	58,100千円	78,695千円		20年度	7,200円	7,631円
	協働の パートナー				21年度	7,200円	7,167円
事務事業 運営経費	総事業費	610,626千円	643,024千円	対象者1人は水洗 化人口で計算 20年度:84,260人 21年度:85,201人	22年度	7,200円	
	市民1人当りの経費	3,456円	3,644円		23年度	7,200円	
	対象者1人当りの経費	7,167円	7,631円		最終年度 (年度)	7,200円	
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名						
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)維持管理経費の削減。 (2)施設からの臭気対策					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)包括的民間委託導入委員会を設立し、検討を行った。 (2)恒久的な対策として設備の改善を行い、継続した消臭剤添加も行い臭気低減を図った。 ・職員による臭気モニタリング調査を毎日実施し、状況把握に努めている。 ・処理場の適正な運営・維持管理を行うため、近隣町内会との協議の場としての「連絡協議会」を設立した。					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)バイオマスエネルギー回収施設建設が予定され性能を担保する条件が流動的であるため、包括的民間委託へ移行する時期については、同施設稼働後(平成27年度以降)が適当であると検討委員会で決定した。					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)検討委員会では、他市の状況把握・委託範囲・性能保障方法・業者選定方法などについて引き続き検討し、本市に適した委託方法を選定していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性		
B	有	・施設機能の確保に努め、適正な維持管理を実施し、公共用水域の水質保全を図る。		B	有	・引き続き適正な維持管理に努める。	
課長名		浄化センター所長 原 秀広		部名・部長名		都市整備部 山内廣行	